

# 施工説明書

## 建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面

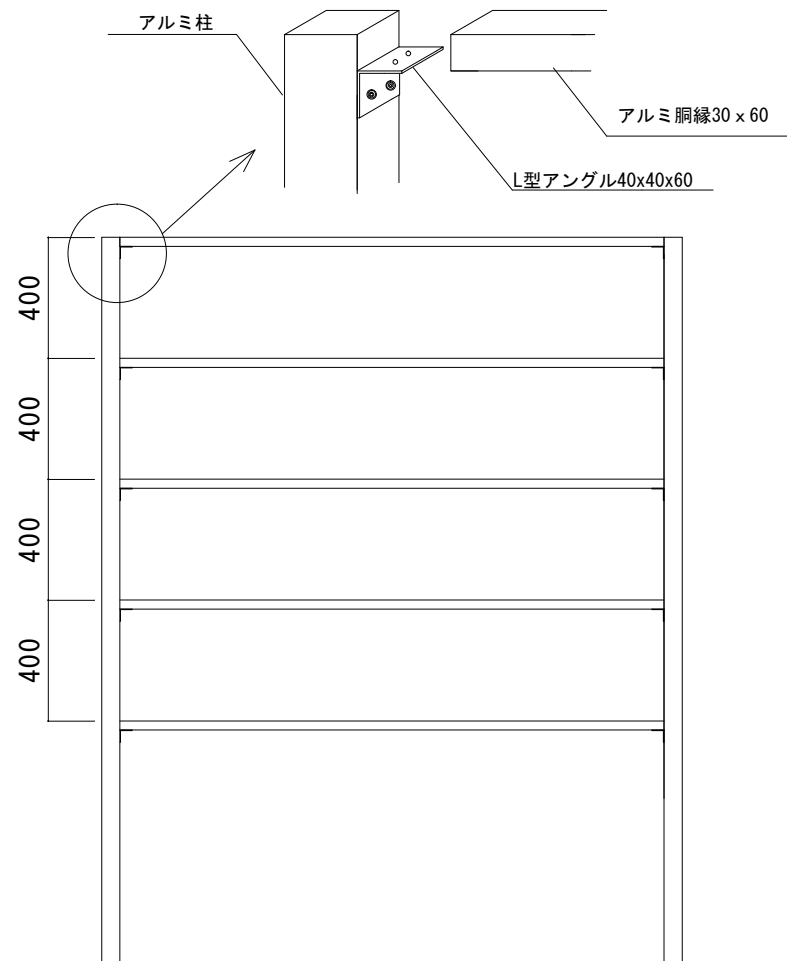
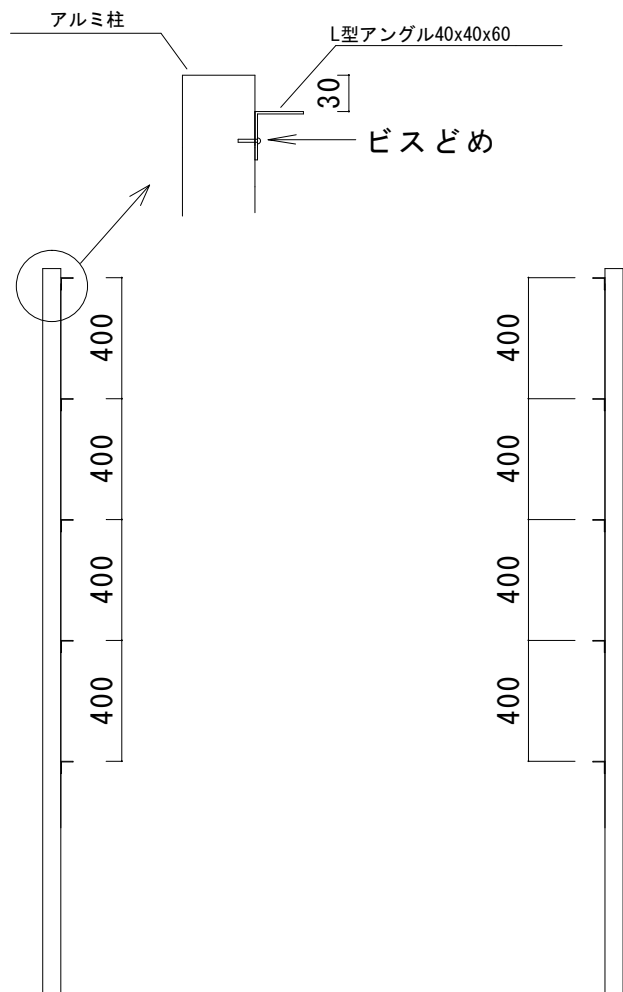
H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

東京ガーデニングスタイル

TOKYO GARDENING STYLE

施工に関するお問合せは

TEL 059-340-4100



### ① アルミ柱にL型アングルを取り付ける。

アルミ柱の上面から30mmさがった所にL型アングルを取り付けます。H=1800の場合、標準5胴縁ですので柱の片側に5個のL型アングルをビスどめします。

※4×16(茶)ビス使用

### ② L型アングルにアルミ胴縁30×60を取り付ける。

L型アングル1個につき2本のビスで胴縁をとめます。

※4×16(茶)ビス使用

注：アルミ胴縁と柱の間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

# 施工説明書

## 建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面

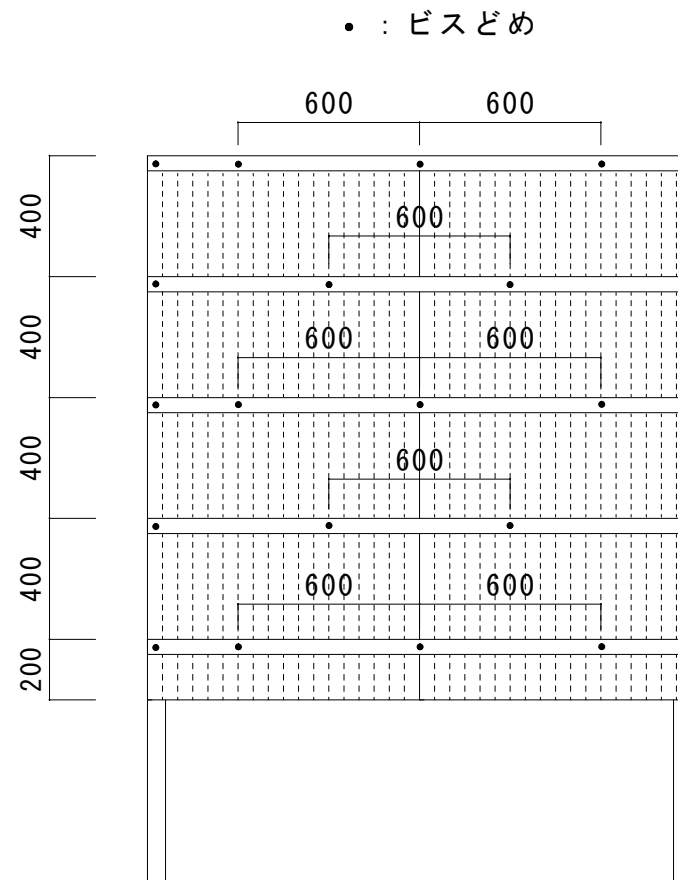
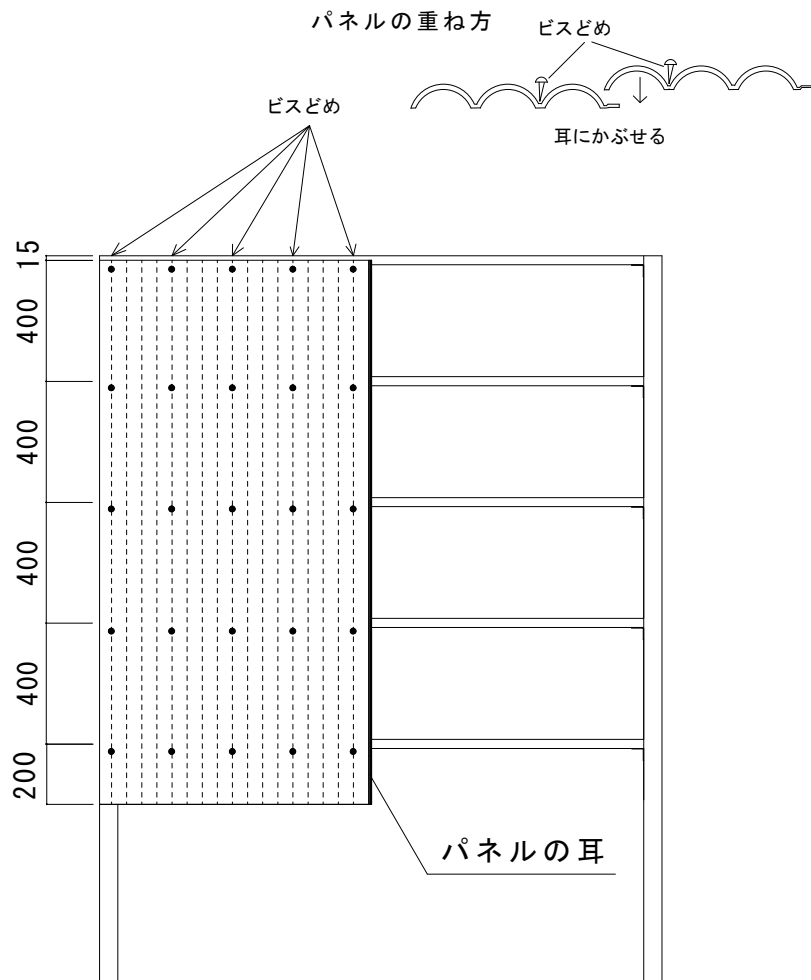
H1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

東京ガーデニングスタイル

TOKYO GARDENING STYLE

施工に関するお問合せは

TEL 059-340-4100



### ③ アルミ胴縁に建仁寺パネルを取り付ける。

図のように、左側からパネルを取り付ける場合、パネルの耳が右側に来るように取り付けます。アルミ胴縁の上面から15mm下げてビスどめして下さい。裏側も同じ様に15mm下げてパネルを取り付けて下さい。端部のパネルの耳はカッターナイフで切り落としてから取り付けてください。ビスどめの位置は横一列に5ヶ所が標準です。

パネル1枚につき、4x16(黄)ビスを25本使用します。

※4x16(黄)ビス使用

### ④ 割竹50を取り付ける

パネルの上から割り竹50をビスどめします。ビスの位置は600mm間隔が標準です。

裏側も同じように割竹50を取り付けて下さい。

※4x40(黄)ビス使用

注：割竹50の両端は、必ずビスどめして下さい。

# 施工説明書

## 建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面

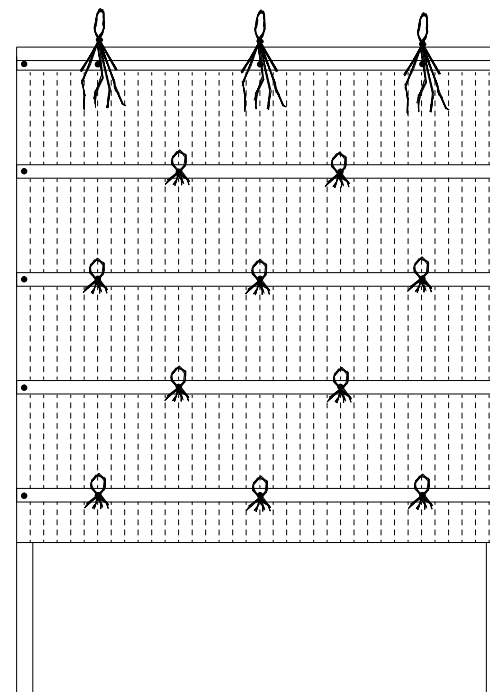
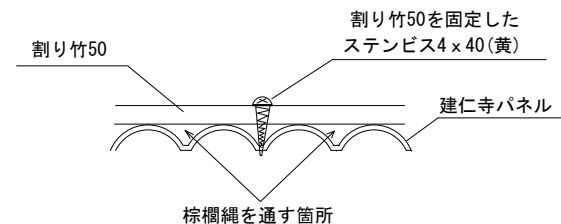
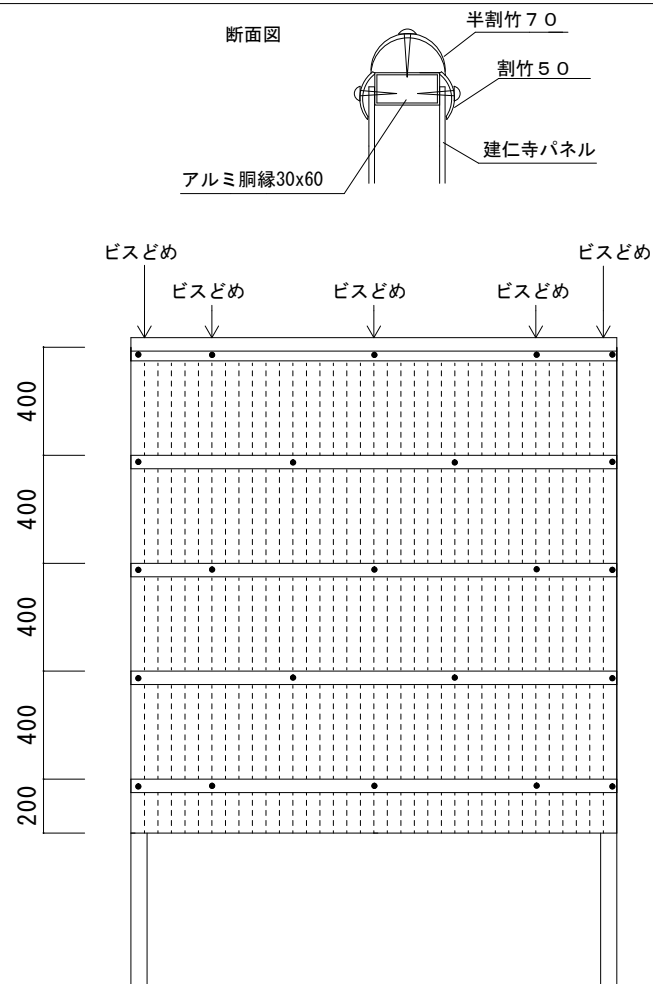
H1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

東京ガーデニングスタイル

TOKYO GARDENING STYLE

施工に関するお問合せは

TEL 059-340-4100



### ⑤ 最上部に半割竹70を取り付ける

ビスどめ位置は、最上部の割竹50のビスどめ位置と同じ位置です。

下穴をあけてからビスどめします。

※4x50(黄)ビス使用

### ⑥ 人工棕櫚縄で縛る

割竹50を固定したビスの上から化粧結びをします。

最上部はパネルに8mmほどの穴をあけ、その穴に棕櫚縄を通して結びます。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほづれが防止できます。

最後に柱キャップをして完成です。

※棕櫚縄の結び方は、別紙参照